



# 都の西北

2021年(令和3年)10月1日

早稲田大学校友会 昭島稲門会会報 第11号



## 巻頭雑感 会長 梅田正宏

地球規模の感染爆発である新型コロナウイルスによる感染症は、1年半以上たった今日でもまだ収束の見通しが立たない状況です。昭島市でも高齢者へのワクチン接種は、希望される方々へはほぼ打ち終わったようですが、昨今では未だワクチン接種が済んでいない若い方々への感染が増加しているようです。累計では市内の感染者もいずれ2000人に及ぼうかという状況ですが、会員の皆さんやご家族、お知り合いに感染が及んでいないことを願うばかりです。一日も早い収束が待たれますが、私自身にとっても「With コロナ」で日々の生活や社会的生活をどのように送るかは大きな課題であり、会長としても諸事業を計画どおり実施するのか中止するのかの判断に常にジレンマを感じています。

自粛生活のなかでの唯一の楽しみは米国 MLB (大リーグ) エンゼルスの大谷翔平選手の大活躍で、彼の一挙手一投足には常にワクワクさせられます。また、無観客開催となったオリンピックとパラリンピックも日本人選手の活躍、別けても早稲田の現役・OB選手たちの活躍(④ページに詳細)で、変化のない自粛生活下、大いに楽しませて頂きました。



レスリング金メダルの須崎選手(スポーツ科学部)

さて、昭島稲門会の活動ですが、従来行ってきた行事の大半は昨年引き続き自粛せざるを得ない状態が続いています。特に飲食を伴う親睦行事は現在も全く開催が見込めません。昭島稲門会として昨年度(2020年10月1日~2021年9月30日)に実施できた行事は、それぞれ感染対策に十分留意したなかで開催した「ゴルフコンペ」「シネマの会」が各1回、「ハイキング」が2回のみでした。また、昨年の定期総会は書面審査を余儀なくされました。近隣の稲門会では規模を縮小して内輪で実施したところもあったようですが、ほとんどが対面での総会は中止となったようです。東京三多摩支部の活動も2020年度は全て中止となり、2021年度の会長会も8月21日、Zoom オンライン会議での開催となりました。会員の多くが集う支部大会も来る10月17日に予定されていましたが、最終的に中止と判断されました。本年度の第37回定期総会ですが、上述のようにコロナの感染状況は予断を許さない状況にありますが、感染対策をしっかりと行った上で、来賓はお呼びせず、会員のみで下記により開催することにいたしました。コロナ禍で皆さんとお会いする機会がほとんど失われていますが、ワクチン接種もお済みだと思いますので是非ご参加いただきますようご案内申し上げます。なお総会において、新入会員の浅野正直さんの講演を予定しています。

1. 日 時：2021年11月14日(日) 14:00~16:00 (懇親会は行いません)
2. 場 所：昭島市民交流センター 2階 会議室

目次	P1…会長挨拶 「巻頭雑感」	P3…新入会員の紹介 秋山和紀さん・浅野正直さん
	P2…サークル活動の紹介 カラオケ・ハイキング・ゴルフ・シネマの会	P4…「漫画 WOB さん」「オリンピック・パラリンピックで早稲田が大活躍」ほか

## ☆☆サークル活動の紹介☆☆

### カラオケも芸術

音楽は心に直接響く芸術の一つ、とされています。聴くだけでなく自ら歌うカラオケの、心に響く程度はかなりのものでしょう。昭島稲門会カラオケ倶楽部もすでに1年半休会しておりますが、安心して歌えるときに備えて、以下の事を実践してみましょう。

○毎日少なくとも1回は声を出して1曲歌うこと。  
○カラオケファン、歌の手帳といった雑誌が920円で販売されています。面白い内容なので見て検討してください。

○テレビは、定番の夜の歌謡番組の他に、早朝BS12でほとんど毎日歌番組をやっています。

○最近の大型の有機ELテレビ(65型、55型)で見る歌謡番組、スポーツの画像は極めて美しいものがあります。思い切って買い替えを一考してみてください。

家庭内で過ごす時間が多くなっておりますが、歌のある世界を自分なりにつくり、歌心を絶やさず心を豊かにしてください。(岩田記)

### ハイキングサークル

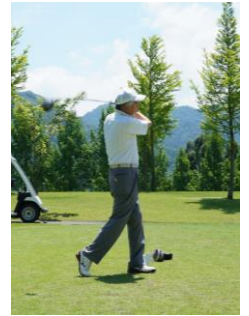


2012年(平成24年)からハイキングサークルとして担当幹事を決めて年2回開催されております。

昨年来のコロナ禍で会の行事はほとんど実施出来ない状態となっておりますが、屋外実施であり3蜜もほとんど問題ないとの判断で、2020年の春は中止しましたが、秋は昭和記念公園、2021年春は都立小峰公園(武蔵五日市)へのハイキングを実施しました。高齢者でも参加できることを前提に近隣の名所を探し出して適当な距離の散策と季節折々の風景を楽しみながら親睦を深めております。是非皆さまの参加をお待ちしております。(梅田記)

### ゴルフコンペ

渋野日向子、松山英樹、笹生優香そして稲見萌寧のオリンピック銀メダル獲得と、このところ日本人ゴルファーの大活躍が目立ちます。こんなスター達に刺激されてか、今若い人たちのゴルフ熱が高まっているようです。



さて我々昔若かった人たちも負けずに頑張っているのが、昭島稲門会ゴルフコンペです。このコンペは2005年から続いている歴史ある同好会です。

コンペは毎年2回、5月と10月の第2日曜日に大月市の「花咲CC」で行っています。昭島から約1時間と近く、3~4人で相乗りして行きますので足の心配もありません。

運動不足の解消のためにも、是非参加されては如何でしょうか?コロナ禍が過ぎれば、もちろんプレー後の昭島に帰っての反省会も大きな楽しみになります。(山中記)

### シネマの会

当会では一番新しいサークルです。

お花見ハイキングの道すがら「たまにはみんなで映画を観たいわね」との女性会員の一言から始まりました。第1回は平成28年6月開催。ついこの前からと思っておりましたが、「平成も遠くなりけり」ですね。初回の三枝裕和監督、阿部寛主演の“海よりもまだ深く”から、令和2年11月のアニメとしては空前のヒット作“鬼滅の刃”まで25回を重ねました。

このところコロナ禍で自粛を余儀なくされていますが、2ヵ月に1回程度の開催を目処としています。自宅で手軽に好きな映画が楽しめる時代ですが、外界と遮断された空間で大画面、良い音響で別世界に没頭するのもいいものです。

この会への参加で、私の映画の世界はアクションもの一辺倒という無骨な世界から、ファンタジー、ミュージカルなどの洋画などジャンルも広がり、制作国も邦画、ハリウッド(インド映画)とワールドワイドになりました。(平田記)



入会しました

秋山和紀(あきやまかずのり)さん 昭和22年生まれ 同44年政経学部卒

## 山歩きとポピュラー音楽で充実の日々



昭島市には平成9年にマンション購入しましたが、関西勤務が延長され平成19年現役退職後から居住。その間、関西で単身生活、東京出張時に宿泊するのみでした。

退職後、学生時代からの趣味の山歩きを本格的に行い、7年に亘り山岳ツアー会社でガイドを行いました。主に大峯山系、南アルプス、奥秩父、奥多摩の縦走登山をガイドしていました。現在は昭島カルチャー・センターで『やさしい山歩き講座』を担当、月1回の山歩きを実施しています。

個人的には、深田久弥選定『日本百名山』を、2015年10月赤城山を最後にすべて完登し、現在まで延べ270回登頂して

います。これからも体力がつづくかぎり登山を楽しみたいと思っています。

また、還暦を前に歌を始め、カンツオーネ、シャンソンを中心にポピュラー音楽を歌っています。70歳の時、新宿のライブハウスでコンサートを開催。また72歳の時は昭島でミニライブを開きました。今はコロナで歌うこともままならず悶々としております。機会があればもう一度ソロライブを開きたいと思っています。



浅野正直(あさのまさなお)さん 昭和30年生まれ 同53年法学部卒

## クラス会、年次稲門会の幹事として貢献

私は20年来、クラス会の幹事をやっております。きっかけは、親しくしていたクラスメイトから「癌を患い余命幾ばくも無い。体力のあるうちに皆に会いたい」との連絡でした。残念ながら友人は亡くなってしまいましたが、以降、彼の遺志を継ぎ、毎年早稲田の杜でクラス会を開催しております。また、定年退職直前の2年前、年次稲門会の幹事長に誘われて幹事会に参加するようになりました。2年前の総会は80名程集まり早稲田倶楽部で盛大に行われました。

昨年はコロナで書面総会となってしまいましたが、幹事会は

リモートで毎月実施しております。今年からは、幹事会の後、リモートで一般会員も加わり懇親会を行っています。アルコールも入り話が弾みます。昨年からはFacebookに「1978年次稲門会」プライベートグループを立ち上げ現在144名の登録を得ております。コンテツの更なる充実が今後の拡大のキーとなっております。丁度、早稲田学報8月号P87に1978年次稲門会の記事を書いて頂きましたので是非ご覧下さい。来年は卒業45周年の招待年ですので、大いに盛り上げて行きたいと思っています。

私は東京都中野区の出身ですが、ご縁があって1984年より昭島市に住んでおります。水も美味しく、富士山も望めて大変気に入っております。今では3家族みな市内に住んでおります。今の夢は孫二人が早稲田に入学することです。まだ8歳と6歳ですが何かにつけて母校をPRしております。この度昭島稲門会に入会を許され、ワセダ愛を共に高揚出来ることを大変楽しみにしております。よろしくお願い致します。





## TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック大会 早稲田の学生・校友が大活躍

この夏開催された TOKYO2020 オリンピック・パラリンピック競技大会。我が早稲田大学からはオリンピック21競技に36名、パラリンピック4競技に5名の現役学生や校友が出場しました。



オリンピックでは、レスリング女子50キロ級で須崎優衣選手(スポーツ科学部4年・レスリング部)が、全試合失点ゼロという圧倒的な強さで見事金メダルを獲得しました。

フェンシング・エペ団体でも、校友の加納虹輝選手(スポーツ科学部卒)がチームのエースとして金メダル獲得に貢献しました。田中総長から「鳥肌が立った」と評された活躍は見事の一言に尽きます。



右側が加納選手



また、女子バスケットボールでも校友の本橋菜子選手(スポーツ科学部卒)が、史上初の快挙となった日本代表チームの銀メダル獲得に大きく貢献しました。

パラリンピックでは校友の鈴木孝幸選手(教育学部卒)が、出場した競泳5種目すべてでメダル(金1、銀2、銅2)を獲得するという快挙を成し遂げました。それぞれに素晴らしい活躍をされた選手の皆さん、勇気と感動をありがとうございました。



### 稲門祭はオンライン開催

昨年は残念ながら中止された稲門祭ですが、未だ感染の収束が見込めないなか、今年は初めての試みとして、10月24日(日)にオンラインで開催することになりました。なお、開催方法の変更に伴う各イベントの詳細については、校友会のホームページ(<http://wasedaalumni.jp>)で随時ご確認ください。また、好評をいただいている「福引抽選」はオンライン開催でも実施されます。どうぞお楽しみに。

#### 編集後記

この一年も昭島稲門会の活動はほぼ完全自粛を余儀なくされました。皆さんに私たちの活動をお伝えする会報も残念ながら今号は4ページでの特別編集ということになりました。こうしたなか前ページでご紹介したとおりこの度、素晴らしいお二人の新入会員をお迎えすることができました。沈滞気味の昭島稲門会に新風を吹き込んでくださるお二人です。(佐藤清)

## ワセダOBの WOBさん

By ぶくだけし



▲ 漫画の作者は早大漫研OB

発行：早稲田大学校友会

東京三多摩支部昭島稲門会

<http://waseda.akishima-tomonkai.tokyo>

会長：梅田 正宏 電話 541-6008

〒196-0031 福島町2-17-1

[umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp](mailto:umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp)

幹事長：山中 皓博 電話 090-9953-7404

〒196-0024 宮沢町2-14-39

[yamanaka-akihito@nifty.com](mailto:yamanaka-akihito@nifty.com)